

## JMC ウェビナー 開催のご案内

### バイデン米新政権の通商政策の展望 ～米中・日米関係はどうか～

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日本機械輸出組合では、米国における政権交代のタイミングを捉え、米新政権の通商政策全般、また米中・日米関係の展望と日本企業にとっての課題等について、同分野に精通するエキスパートを招聘し標記セミナーをオンラインで開催することと致しました。組合員各位におかれましては、是非この機会をご利用いただき、多数の皆様にご参加賜りますよう、ご案内申し上げます。

◆日 時：令和2年 12月15日（火）13：30～15：00 （受付開始13：00）

◆方 式：Zoom を使ったウェビナー形式

◆講 師：みずほ総合研究所(株) 調査本部 政策調査部  
主席研究員 菅原淳一 氏

#### ◆講演概要

バイデン政権の通商政策は、産業政策と一体化していること、政策課題としての優先順位が高くないことが特徴といえます。米国内の製造業と雇用の保護を重視するという点では、トランプ政権の「米国第一」の政策と基本的に変わりませんが、対外手法が異なります。トランプ政権が同盟国をも対象にした追加関税の発動といった攻撃的な単独主義の手法を用いたのに対し、バイデン政権は日本などの同盟国や価値を共有するパートナー諸国と連携して、米国の利益や価値の実現を図る多国間協調を志向すると見られています。

バイデン政権は国内産業の競争力強化を優先し、その取り組みが進むまで新たな貿易交渉は行わない方針を明らかにしています。トランプ政権と異なり、対日交渉で自動車への追加関税発動の脅しを用いることはないとみられますが、農産物市場を含めた更なる市場開放等、日本に厳しい要求を突き付けてくる点ではトランプ政権と変わらないでしょう。

米中関係も、バイデン政権が人権や民主主義などの価値をより重視する点や、気候変動問題等の特定領域での協力が模索される点においてはトランプ政権と異なりますが、基本的な対中脅威認識は変わらず、機微技術等を巡る対立は続くと考えられています。良好な日中関係を維持したい日本に対し、米国の対中政策への同調圧力が高まることが予測されるなか、日本は米中間で難しい舵取りを迫られることになるでしょう。

◆参加費：無料（組合員限定）

◆お申込み方法：セミナー参加ご希望の方は、12月7日迄に当組合ホームページ（下段 URL）からお申込みください。お申込み後、自動的に申込受付通知メールが送られます。

<https://www.jmcti.org/seminar/index.php3?sid=11120012>

◆定 員：200名 （定員に達し次第受付をしめきります。お申込みと入れ違いに定員に達し、受付を締め切ることとなった場合は、事務局よりその旨をご連絡させていただきます。）

#### ◆参加用 URL および資料送付について：

申込完了の方には開催前日までに、参加用 URL と資料データをメールでお送り致します。

※ 参加用 URL へのアクセスは、お申込みされた方に限らせて頂きます。

※ 招待メールや URL の第三者への転送はご遠慮ください。社内で複数の方に参加頂く場合は、必ずおひとりずつお申込みください。

## ◆質問の事前受付について

ウェビナー参加申込をされる方で本講演テーマに関し、講師に伺いたい質問事項がございましたら、事前に受付させていただきますので、ご希望の方は下記期日までに事務局までメールでお送りください。（ご質問の内容により対応でき兼ねることもあることを予めご了承願います。）

→ 質問事前受付

\* 下記問合せ先のメールアドレス宛にお送りください。（受付期限：12月7日迄）

## ◆講師略歴

一橋大学大学院法学研究科公法・国際関係専攻（国際関係論）修了。1996年富士総合研究所（現・みずほ総合研究所）入社。2001年経済協力開発機構（OECD）日本政府代表部専門調査員を経て、04年みずほ総合研究所政策調査部主任研究員、16年から現職。20年より一般財団法人国際貿易投資研究所（ITI）客員研究員。主な著書に、『TPPの期待と課題：アジア太平洋の新通商秩序』（共著、2016年10月、文眞堂）、『巨大経済圏アジアと日本』（共著、2010年9月、毎日新聞社）等。

## Zoom 利用に関するお願い、注意事項について

### ◆Zoom のアプリインストール、事前確認等のお願いについて

\*本講座はビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信です。

\*お申し込み前に下記 Zoom テストサイトで Zoom 会議に参加可能かご確認ください。

→ <https://zoom.us/test>

\*アプリがインストールされていない場合はダウンロードメッセージが出ます。ダウンロード後インストールしてください。アプリ無しでも参加可能ですが、ご使用のブラウザによっては参加できない場合がありますので、本テストサイトで参加可能かご確認ください。

\*アプリが既にインストールされている場合でも、Zoom クライアントは最新版にアップデートして使用してください。アップデート方法は下記リンクをご参照下さい。

→ <https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362233>

\*本講座の受講にあたっての推奨環境は「Zoom」に依存します。受講者の方のお手元の PC などの設定や通信環境が受信の状況に大きく影響いたしますので、ご自分の環境が対応しているか、お申し込み前の確認をお勧めいたします。

[https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6)

[MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%E3%81%E4%BB%B6](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362023-PC-MacLinux%E3%81%AE%E3%82%B7%E3%82%B9%E3%83%86%E3%83%A0%E8%A6%E3%81%E4%BB%B6)

### ◆その他 注意事項

\*本セミナーはインターネット経由でのライブ中継ですので、回線状態などにより、画像や音声がかかる場合があります。また、状況によっては講義を中断し、再接続して再開する場合がありますが、予めご了承ください。

\*万が一外部者が侵入した場合は管理者側で外部者の退出或いは講演を終了致します。

\*参加者による講座の録画、録音、資料の全部または一部の転載、改変などの二次的利用、貴社以外への配布、SNS 等への投稿はなさらぬようお願い致します。

お問い合わせ先：日本機械輸出組合 大阪支部 樋沢（ひざわ）、上田（あげた）

TEL：06-6252-5781

E-Mail：mailto：[hizawa@jmcti.or.jp](mailto:hizawa@jmcti.or.jp)